

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4770400010		
法人名	社会福祉法人 榕樹会		
事業所名	グループホーム沖縄一条園		
所在地	沖縄県沖縄市与儀3丁目5番10号		
自己評価作成日	平成25年 8月26日	評価結果市町村受理日	平成25年11月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

広々とした室内、散歩に適度の距離(建物の周囲)もあり中間距離に椅子を置き、軽体操やお茶タイムも出来、気晴らしもできます。おやつは水・日は隣接する特養ホーム厨房からヒヤチー・クズモチが出、月曜日は利用者が作ります。折り紙は自分の出来る部分を手分けして折っています。食器拭き、食事の盛り付けなど自分の出来る範囲で行っています。隣接する特養ホーム(喫茶店)・デイサービス(習字)とグループホーム以外の方々とも交流し、刺激のある生活を送ることが出来ています。隣接する特養ホーム(看護師)の協力を得、グループホーム沖縄一条園は隔たりのない心で明るく、楽しく安らぎのある家庭を心がけています。近隣地域と「チュイだしき、だしき」で支え合っています。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 http://www.kaijokensaku.jp/47/index.php?action=kouhyou_detail_2012_022_kani=true&JigyosyoCd=4770400010-00&PrefCd=47&VersionCd=022

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の庭での散歩や雨天の時には、フロア内での歩行練習が実施され、下肢筋力低下防止のため継続して支援を行っている。敷地内にある同法人の施設で、毎週水曜日に開かれている喫茶店へ出掛け、ボランティアで参加している馴染みの人と交流したり、週1回の書道教室に通うなど、入居者の馴染みの関係継続の支援に取り組んでいる。また、毎月1回法人の全体会議が開催され、研修会や研修報告会に管理者と職員が参加している。毎日の生活の中で、食器拭き、お膳拭き、洗濯たみ、盛り付け等の活動についても、個別の介護計画を作成し、入居者一人ひとりの力を活かし行われるよう取り組んでいる。

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 沖縄タイム・エージェント		
所在地	沖縄県那覇市曙2丁目10-25 1F		
訪問調査日	平成25年9月26日		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

確定日:平成25年10月21日

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	今回グループホーム独自の「介護理念」を作成し、毎朝申し送り時、管理者を先頭に職員皆で唱和し、心する。	理念は、今年度管理者を中心に職員と一緒に話し合い、方言を取り入れ、使い方については入居者に聞きながら作成している。毎朝の申し送りの際に、全員で唱和し共有している。地域の方が訪問しやすいように声掛けや挨拶等の取り組みを行っている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	当グループホームの所在地の自治会長を設立当初より運営推進委員会に参加してもらい地域との関わりが持てるように働きかけているが、まだ、地域の行事には参加できていない状況により、当園の夏まつりには地域の老人会や隣近所の方々を招いている。又、地域の方々がボランティア(当て布、散髪など)で来園され交流を図る。	運営推進委員の提案で、北側の門扉を開放したことで、近所の子供たちが遊びに来て一緒に折り鶴を折ったり、おやつを食べることもある。地域のボランティアを受け入れ(散髪、話し合い手、踊り、草刈り、窓ふき等)交流している。今後は、地域の行事に参加することを検討している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進委員の自治会長より「高齢者2名が公民館で過ごすため職員が困っている」旨を聞き、本人や地域への支援、協力を行う姿勢を伝えるが、これ以上は進展しない。今後は積極的に地域に出向き発信していきたい。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	外部評価免除の適用外になり今回外部評価を受ける旨7/16の運営推進委員会に計らい、①地域との関わり方を話し合い、隣近所の方々が気軽に訪問できるように玄関前の門扉はもちろん、北側の門扉も開放した方が良いとの意見が出、両扉開放する。②災害時に近くの浜原団地やSKマンションの協力体制作りの案も出、検討する。	運営推進会議は、市職員、利用者や家族も参加し年6回定期的に開催されている。会議では、事業所の活動報告等を行っている。また、昨年外部評価でステップが上がった項目について報告し、委員の方から「近隣の方に災害時の協力依頼をお願いしてはどうか」との提案があり、体制づくりに繋げている。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	高齢福祉課へ管理者交代の報告あいさつに出向く。事故報告書提出時に担当職員と転倒予防策について話し合し、指導・情報を得る。今後積極的に助言・指導を仰いでいきたい。	入居者が退所され自宅に戻る際に、包括支援センター職員へ電話にて報告し情報共有している。市担当者からは、空き室の確認や研修会のお知らせを受けている。今後、グループホーム便りを作成し、市担当者へ配布する際に窓口訪問し、情報交換の場を作っていこうと検討している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束0の方針を職員は心得ており、玄関や門扉を開放する。又、危険認知に欠ける入所者には家族の了解を得、緊急対応策でベットの増やすが、家族と相談しながら、ベットの通常に戻し床センサー、ベット線センサーを設置し見守りも徹底する。	身体拘束をしないケアの取り組みがなされ、夜間帯以外は玄関や窓は開放している。散歩に出かけようとする利用者には職員が一緒に付き添っている。緊急やむを得ない理由で使用していたベットの柵について、同意書や経過観察記録等の手続きもきちんとなされている。	

沖縄県(グループホーム沖縄一条園)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員は研修で学び、職員会議にて報告し、全職員心し、態度・言葉使いを注意し防止に努める。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員全員に「青年後見制度青年後見登記」「地域福祉権利擁護事業」のパンフレットを配付し読み上げ認識する。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に契約書や重要事項説明書に沿って説明し、不安や疑問があればその都度分かりやすく説明し、理解・納得してもらえるように努めている。今回、管理者変更も重要事項説明書に沿って説明し、同意・捺印を得る。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の意見や要望は面会時や毎月のモニタリングの説明・交付時に、ゆったりと何でも言ってもらえる雰囲気作りに努め、出された要望・意見などはミーティングで話し合い反映させている。	職員は居室担当制を取っており、入居者から直接要望等を聞くように心がけている。年2回家族会を開催し意見交換会の時間を設けている。家族からは、「文字が書けなくなったので、書かせて欲しい。」「足腰が弱っているので、歩行訓練をして欲しい。」等意見があり、取り組んでいる。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回の職員会議には代表者も参加し、職員の意見、要望を聞くようにしている。又、個人からその都度意見・要望・不満など聞くようにし解決策を話しあう。	毎月1回の職員会議を全員が参加出来るよう月2回開催し意見を聞く機会を作っている。職員から、利用者の見守りが出来る職員の確保や、パート職員の時間帯の変更について提案があり、勤務時間帯の調整を行っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者も頻繁に現場に顔を出し、利用者とおしゃべりしたり、職員に声を掛けたり、働きやすい環境作りに努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	事業所外での研修にはなるべく交代で受講できるようにし、グループホームでの報告はもちろん法人の毎月の全体集会で発表してもらう。		

沖縄県(グループホーム沖縄一条園)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県グループホーム連絡会に加入し、研修会や交流を持ちサービスの質の向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスの利用状況(通所など)、困っている事、不安なことをよく聞き安心感が得られるような環境作りに努める。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスの利用状況や家族の困っていること苦勞などをゆっくり聞き信頼関係づくりに努める。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学や相談(電話、来園)時、本人の状態、家族の思いを聞き必要なサービスが受けられるようにケアマネジャーへ繋ぐ。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員が気づかず、利用者が気づく時もあり、そのときは感謝の言葉をつたえる。職員より優れているところ(習字など)はやってもらっています。喜怒哀楽も共に悩み、喜んでいます。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の日々の暮らしの様子を伝え、自宅での暮らしぶりを教えてもらい、家族と一諸の思い出が本人を支えている事を伝える。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入所前からの美容室に家族と一緒に通っている利用者や自治会の行事に継続して職員、家族と一緒に参加する。又、入所前に利用していた隣接の通所の習字教室に継続して参加し、馴染みの人や場所との関係が途切れないよう支援に努めている。	友人が訪問し居室で過ごされる方もいる。毎週水曜日に敷地内の同法人内にある喫茶店へ出向き、ボランティアをしている知人と会って会話されている。出身地域の行事に家族と職員が付き添い参加する等、馴染みの人との関係継続の支援に努めている。	

沖縄県(グループホーム沖縄一条園)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日々の食事やお茶の時間は職員も一緒に座り、みんなでオシャベリが出来る環境作りに努め、席の配置も人間関係が上手くいくように考慮する。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	終了後、半年ほどは電話で問い合わせ、支援は受けているか、閉じこもりになっていないか助言・確認をする。車椅子の必要な元利用者に3ヶ月間貸したこともある。又、包括支援センターに繋がったこともある。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	「ミルクが飲みたい」「眠るのを多くしたい」「新聞購読を継続したい」などあり家族と相談し対応している。	職員は入居者一人ひとりの意向をきちんと把握し、入居者主導の支援に活かしている。把握が困難な場合は、家族からの情報や利用者の表情や行動パターンから汲み取り対応している。洗濯たみ、食器やお盆拭き等入居者一人ひとりに役割を持ってもらい活動している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	信頼関係を作り、話の中で生活歴など聞けるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の支援で生活リズムやできる力、わかる力の把握に全職員心がけています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	月の評価を参考に予め職員で話し合い、家族の思いや意見を聞き、介護計画に反映させるように努めている。	半年に1回本人、家族も参加し担当者会議を開催している。入居者一人ひとりが手伝いや趣味活動を継続出来るよう、個別の計画になっている。毎月モニタリングを行い、見直しは介護認定更新時や状態変化があった時に行っている。申し送りや会議の中で、職員へ情報共有している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別の介護日誌(24時間表)に食事・水分量・排泄・睡眠・身体状況を記録し、勤務前に確認・申し送りをを行い介護計画や評価に活用する。		

沖縄県(グループホーム沖縄一条園)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診は基本的には家族が対応することになっているが、体調不良時に家族が遠距離に滞在し家族対応での受診が難しい場合は、管理者が受診対応するなど柔軟に行う。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の美容師が必要に応じボランティアでカットに来ています。又地域のボランティアが誕生会に踊りを披露します。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入所前よりのかかりつけ医を家族と一緒に受診する。その際、当施設のバイタル表と情報提供書を持参し、医師の診断は情報提供書に添え書き、診療情報提供書、あるいは口頭で説明受け、注意事項やクスリの変更などはミーティング帳を通し申し送りを行う。	本人や家族が希望する利用前からのかかりつけ医や専門医となっている。介護タクシーを利用する等家族同行での受診となっている。受診時には情報提供書を持参して頂き、受診後家族より口頭で職員が情報を受けている。申し送りノートに記入し全員で確認している。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職員の記録をもとに隣接する特養の看護師に相談・助言を得、受診などに繋ぐことができる。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入所前からのかかりつけ医で受診は家族対応しています。受診の際、情報提供での状況を(契約時に受診は基本的に家族対応の方針を伝え了解を得る)緊急時は管理者が対応することもある。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に当事業所には看護師が不在により、重度化や終末ケアが出来ない状況を説明し、了承され、そのような場合は退所の方針である旨を伝えています。	重度化や終末期に向けた方針としては、事業所では行わないという統一方針の下、契約時に本人や家族に説明し、納得して頂いている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全職員、介護や特養出身によりある程度の初期対応の知識はもっているため、隣接する特養の看護師の助言・協力を得て行動することができている。		

沖縄県(グループホーム沖縄一条園)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	今年の3、8月(地域の自治会長・隣接する特養の職員、家族)の2回、防火訓練を実施。スプリンクラーの点検も1・15に点検行う。次回より隣近所より協力が得られる体制作りを行う。	消防署へ届出を提出し、11月と8月に避難訓練を行い津波の際には市役所へ避難することを家族へ説明している。備蓄等は併設する母体法人で管理されている。3月に夜間を想定した自主訓練が行われたが消防署への届出は行われていない。	併設する施設職員の協力は得られるが地域住民も参加し、消防署指導の下昼夜を想定した避難訓練の早期の実施に期待したい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩(利用者)には尊厳をもち敬語で優しい言葉使いに努め、自尊心を傷つけないように配慮する。	「敬愛の念をもって高齢者に奉仕する」を掲示し気になる声掛けがあれば管理者がその場で注意をしている。本人の要望を尊重し、申し送り時に職員間でどのような方法が良いか話し合いケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者が常に自分の思いや感情を表現し、自己決定できる環境作りに努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的には1日の流れは持っているが、散歩やレクリエーションなど一人ひとりの状態や思いに配慮しながら柔軟に対応する。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	夏祭りにはアロハシャツの色は本人で選び着けました。又、職員と一緒に浴衣をつけ皆、「綺麗、上等」と喜んでいました。着替えは本人で決めています。出来ない利用者には明るい色を選んで着けてもらっています。馴染みの美容院や散髪は本人の希望に沿っています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は併設の特養の厨房と一緒に準備する。利用者は盛り付けや食器拭きなど行い、職員と一緒にテーブルでおしゃべりしながら食べている。たまには利用者の好きなホットケーキを利用者がこね、焼き、みんなで召し上がっています。	週2回のおやつと3食は、併設する法人施設からの配食である。味噌汁の温め直しを行い入居者が小鉢や皿に盛り付けを行っている。入居者と職員が同じ食卓で管理者が同じ食事をしている。週3~4回ホットプレートでおやつ作りを行い水曜日は併設する喫茶店へ出掛けている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	既往歴を考慮した食事や水分、咀嚼に応じた食事を管理栄養士や主治医と相談し本人にあった食事の提供を行う。又、食事や水分の摂取量を把握し不足の場合、食事はスティックパン、水分は甘くするなど家族と相談し対応する。		

沖縄県(グループホーム沖縄一条園)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨き・うがいを声掛け実施する。本人で出来る事はやってもらい出来ない部分は介助する。理解の乏しい入所者もあせらず、本人のペースで行っています。夜間、義歯洗浄液につけています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄は日中、全入所者トイレで行っています。尿意のない入所者も排泄表に沿ってトイレ誘導を行い失敗のないように支援する。又、後始末やズボンの上げ下げなど本人の出来る事は本人にやってもらっています。	排泄チェック表を活用し、さりげなく声掛けを行う事により日中トイレで排泄出来るよう努めている。本人にあった下着選びを行い快適に過ごしていただける工夫を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘症の入所者には起きがけに牛乳を提供したり、ヨーグルト、牛乳、玄米など交互に提供する。又、個々にスキミルク(個人)提供する。献立には野菜を多く取り入れています。散歩、体操(マッサージも取り入れる)など体を動かし自然排便できるように取り組んでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を嫌がる入所者には時間をずらしたり、タイミングを計ったり、対応する職員を交代したりと工夫する。前日入浴されなかった入所者には翌日対応するなど配慮する。	入居者全員と職員が女性であり、同性介助が行われている。本人の希望により好きな時に何時でも入浴ができる。全員好みのシャンプー等を用意し、本人の選んだ好みの衣類に着替えている。家族の協力もあり現在拒否の方はいない。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	なるべく日中の活動を促し、生活リズムを整えるように努め、本人のリズムや体調、希望を考慮し昼間の休息や睡眠が取れるように配慮する。又、使い慣れた寝具の持ち込みにより安心感が得られるように工夫する。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の服薬ファイルにクスリの説明書を保管し、職員が把握できるようにしている。服薬は本人の手に渡し、きちんと服薬できているか確認をしている。本人の状態変化が見られるときは記録をとる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	併設のデイサービスでの習字・誕生会・特養の喫茶店(ピアノ、三味線の演奏あり)へ出かけ、グループホーム以外の人との関わりや音楽で気分転換をはかる。又、日常生活では食器拭き・洗濯干し・たみ・食事の盛り付けなどやってもらい、感謝の言葉を職員から伝える。		

沖縄県(グループホーム沖縄一条園)

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	今年の夏は猛暑により外出を避けているが、本人の希望もあり本拠地への交流支援や本人の出品する習字の展示会へ園長や職員と出かける等、外出支援を行っています。	入居者全員と職員が天気の良い日には、毎朝庭先でコーヒーや玄米ジュースを頂きながら会話を楽しんでいる。定期受診の帰りに家族と外食をしたり、職員と一緒に衣類の買い物に出掛ける方もいる。週1回ドライブで海や公園へ出掛けている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	一人の利用者は、家族から月々本人がもらい、病院受診やタクシー代を支払うため、領収書の確認の支援を行う。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があればいつでも電話が出来るように支援する。又、電話で静かに話しが出来る様に電話の場所も配慮する。 家族や知人からの手紙も歓迎します。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には入所者皆で作成した輪っかや鶴を飾りひまわりを折り紙で折(職員、入所者)り全員の写真も一緒に飾る。又、入所者の習字を飾るなど空間づくりを工夫する。	玄関には季節の花が飾られ、壁には書道等入居者の作品が展示されている。天窓からは間接的に明かりが入り、毎朝窓を開けて換気を行っている。入居者は車椅子でも十分行き来できる対面式キッチンでお手伝いをしたり、床の間のある和室前のソファーに腰掛け芝居等を鑑賞している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テレビの前にソファーを置き、ゆったり寛げるように配慮する。また、屋外に椅子を設置し、お茶タイムも出来る様にする。季節の折り紙を飾りつける。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族の写真や使いなれた寝具(枕、布団)・テレビ・籐家具・棚など持ち込まれ、入所者の居心地よさに配慮している。	和室3・洋室4全ての部屋から庭に出て野菜やフルーツをみながら1周できる造りになっている。畳の部屋に座卓を持ち込んで趣味を楽しんだり、テレビを持ち込んでいる。持込の少ない方には事業所でダンス等を用意している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや居室いたるところに手すりを設置、居室・トイレ・浴室をバリアフリーにし、安全確保に努める。又、洗濯物は入所者が室内で各々で干せるように、物干しスタンドを利用する。本人の状態に応じ車椅子・押し車・ピックアップなど取り入れている。		